

1998 藤岡市 おもしろ数学教室 報告

藤岡市教育委員会の主催する「おもしろ数学教室」(第三回)が、昨年9月18日に藤岡市立西中学校の体育館で開催されました。「おもしろ数学教室」は、関孝和の出生地とされる群馬県藤岡市で毎年開催される中学生を対象とした講演会で、例年日本数学会が講師を派遣しています。これまでの経緯と内容に関しては「数学通信」2巻1号の「おもしろ数学教室講演」および2巻4号「関孝和の里・藤岡訪問記」をご参照ください。

今回の日本数学会からの参加は、講師の砂田利一氏(東北大理)、理事長の浪川幸彦氏(名大多元数理)、理事の楠岡成雄氏(東大数理)および広報委員長の矢野公一(青山学院理工)の4名でした。

次第は

1. 開会
2. あいさつ 藤岡市教育委員長 岡田要氏
西中学校長 石淵彰秀氏
3. 講師及び同行者紹介
4. 講演 砂田利一氏：ピタゴラスの定理と宇宙の形
(講演60分、質問30分)
5. 謝辞 西中学校教頭 小林敏夫氏
6. 閉会

で、参加者は西中学校の1年から3年までの全生徒約630名です。講演前には地元のテレビ局が取材に入り、マスコミに対する広報活動としても一定の効果があったと感じました。

講演は、場所による太陽の位置のずれを使って地球の大きさを類推することからはじめて、宇宙空間の曲率に至る大変スケールの大きな、しかし周到な準備のもとに組み立てられたわかりやすいお話で、我々が聞いても十分に面白いものでした。具体的な内容に関しては講師の砂田氏が改めて「数学通信」に原稿を寄せることになっています。

講演の後には、「算数と数学の違いは何か」など回答が困難なものを含め、たくさんの質問が出されました。その中で印象に残っているのは「どうすれば数学ができるようになるか」という質問です。講師の砂田氏のご自身の経験を引いて、集中的に勉強する大切さを伝えようとしていましたが、この質問に代表されるように、多くの生徒が、数学を知りたい、あるいは数学の成績を上げたいと感じていることは間違いがないと思います。我々としては、このような問いかけにどう答えるかを常に考えておく必要があるのではないのでしょうか。




講師の砂田氏のご自身の経験を引いて、集中的に勉強する大切さを伝えようとしていましたが、この質問に代表されるように、多くの生徒が、数学を知りたい、あるいは数学の成績を上げたいと感じていることは間違いがないと思います。我々としては、このような問いかけにどう答えるかを常に考えておく必要があるのではないのでしょうか。

おもしろ数学教室

演題

ピタゴラスの定理と宇宙の形

講師 砂田利一 東北大学理学部教授
社会法人日本数学会理事



平成10年9月28日(月)午後2時10分開演
(午後1時40分開場)

藤岡市立西中学校体育館

主催 藤岡市、藤岡市教育委員会、藤岡市立西中学校
後援 北日本放送、群馬県立総合教育センター、藤岡市立西中学校PTA
お問い合わせ 藤岡市教育委員会 生涯学習課 0274-72-1311(内線)

広報委員長 矢野公一